

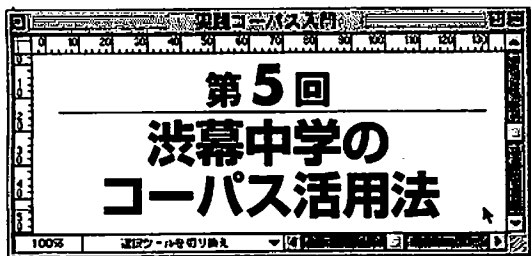
# 投野式 実践

# コーパス入門

## 公開! 授業に生きる活用術



明海大学 外国語学部教授 投野 由紀夫



今回は渋谷教育学園幕張高等学校中学校の実践を紹介しよう。渋谷教育学園幕張高等学校中学校は、千葉県にある私立の進学校で、通称「渋幕」として親しまれている。渋幕は2002年度から始まった文科省のSEL-Hi (Super English Language High School) 指定校の1つになり、3年間の研究実践を行った。その中で、渋谷学園独自の取り組みとして英作文コーパスの作成を試みた。このへんのいきさつや、具体的な実践への活用方法などを中心にレポートしてみる。



### コーパス活用の目的

投野: 渋幕ではコーパス情報を授業に取り入れています。「コーパス」に注目された理由は何でしょうか?

内田: 直接のきっかけはSEL-Hiに指定されて、生徒の実態を把握する必要があったからです。できればテスト以外の方法で、ですね。テストだと点数ばかりが一人歩きして、本当の生徒の様子やニーズが見えてこない場合があると思いますから。そしてその結果としてのコーパス・データを言語資源として共有して、活用しようと考えました。

内田先生はSEL-Hiを中心に運営してきた方である。私を中心で実施してきた学習者コーパスの研究にも早くから関心を示し、今回のSEL-Hiの取り組みにも具体的なイメージとしてコーパス活用を考えておられた。そのポイントは次の2点に集約される。

### ポイント



- ① テスト以外の方法で生徒の実態を把握する
- ② コーパスを「言語資源」として共有・活用する

この2つは、語学教育にコーパスを活用しようとする教師が持っていて欲しい視点である。いわゆる中間・期末などの到達度テストは言語能力の測定に関しては非常に限られたことしかわからない。教科書の内容を細かく復習し暗記している力を問うような問題も多い。一般的な運用能力テストですら、断片的な語彙文法の力、読解能力は測れても、もっと自然な英語の運用能力を測るには、インタビューをして喋らせてみるとか、自由英作文で自由に産出した文章を分析してみないとわからない。膨大な時間と労力がかかるから、普通の学校ではない。そういった面で、SEL-Hiの予算をデータ入力などの謝金に手当てをして、思い切って普段出来ない分析をやってみよう、という意気込みが素晴らしい。

第二に、作ったコーパスを「言語資源」として共有する、という考え方である。自分だけが研究して終わり、というのではなく、そのデータを学校の教員間で共有し、それによって授業を改善しようとする視点は重要である。データを自分だけで抱え込んでしまっているのではもったいない。



### SEL-HIでの指導内容

投野: 具体的にSEL-HIではどのような指導をなさっていた

のでしょうか？

**内田:**ライティングについては、中1から高3の自由英作文と高1, 2年のパラグラフ作文の指導です。前者は投げ込み教材として実施しました。15分程度で身近なトピックについて辞書を使わずに書く方法です。中1にとってはやや難しいタスクだったようです。でも、1文以上の文を書く経験は大切だと思います。後者は英語I, IIの内、週1時間をパラグラフ作文に充てました。SEL-Hi 副委員長(当時)の後上教諭の発案で、生徒同士の peer feedback とネイティブスピーカーの feedback を両方取り入れたところが特長です。GTECで効果検証したのですが、下位群の伸びが顕著でした。また、投野研究室のご協力でGTECの答案と自由英作文を全て電子化して、Shibumaku Learner Corpus (SLC) という大きな学習者コーパスにさせていただきました。これを分析すると、生徒の成長の様子がとてもよくわかります。膨大な量のデータなのでまだすべて分析しきれませんが…。

SEL-Hi 3年間の間に、渋幕では中1から高3まで全校生徒に一齐に同一トピックで自由英作文をさせ、それをコーパスにするという試みを行った。中高一貫校で、全校生徒に同一の英作文を課したデータを持っている学校は極めて少ない。中学1年から高校3年までの英作文データを詳細に分析すれば、さまざまな特徴が明らかになるはずである。このような試みには、学校全体の協力が欠かせない。中学校1年生に自由英作文をさせる、などはちょっと無謀のように感じるけれども、そこから出てくるものを見ることによって、言葉の発達の様子や、中1でも相当に個人差があることなどを知ることが可能だ。学校全体でのコンセンサスを得ながら、こういった試みが出来るのは恵まれた環境であると言える。

**ポイント**

学校の特長を有効に活かした  
 コーパス作りをする



**コーパス実践例**

**投野:**コーパス・データを用いた具体的な実践の様子を教えてください。

**内田:**コーパス・データを補助教材やタスクシート、授業中の説明、生徒の質問、テスト作成上の参考にしま

す。例えば、「コーパス超入門」(小学館)のような語学書やBNCの検索結果をもとに例1のような教材を作成しています。例1は教科書の「鶴の恩返し」を題材として、言語材料は「比較」の単元です。鶴の部屋を開けてびっくり「鶴は密かに形容詞頻度表で英語を勉強していた!」という「趣向」です。語彙一覧をただ配布しただけでは無味乾燥でしょうから題材のストーリーの中に位置付けてみました。

かろくが鶴の部屋を開けて見たものは...

なんと、英語の教科書 (book 1 ~ book 3) に出てくる形容詞が一般の英語でどの程度よく使われるかというランキング表であった。

そう、鶴は自分の部屋に隠れて英語の勉強をしていたのです。彼女は、密かに国際人(鶴)を目指していたのだ。

順位	as 及 es の形(原形)	er の形(比較級)	the -est の形(最上級)
1位	now	better	best
2位	good	greater	largest
3位	old	older	greatest
4位	great	larger	biggest
5位	small	smaller	worst
6位	long	worse	oldest
7位	large	younger	youngest
8位	young	easier	smallest
9位	big	longer	strongest
10位	sure	bigger	longest

例1: かろくが鶴の部屋を開けて見たもの

最初の例は、中学生に比較級を指導する際のタスクシート。題材中にうまく頻度表を盛り込んで、比較表現でよく出てくる形容詞を整理しようというものである。コーパスで調べることにより、どういう形容詞が比較級や最上級で最も頻度が高いかがわかる。ネイティブの使う形容詞のリストと、教科書で出てくる形容詞のリストなどを比べてみると、教科書は非常に狭い範囲しか扱っていない。我々はずっとたくさんの実例や使用例を生徒に与えてやるべきである。そうしないと、言葉の総体がよくわかってこない。この形容詞の頻度リストを使いながら、典型的な言い回しや、慣用表現などをフレーズで覚えさせるのもよい。いろいろな活用の可能性が広がる。

投野:他の例も参考にさせてください。

**内田:**Shibumaku Learner Corpus のデータから例2(次頁)のようなタスクシートを作ってみました。これはSLCから集計した日本語彙集リスト(次頁)をもとに英語と例文をレファレンスとしてつけて、自由英作文を書かせるタスクシートです。

SLCIに見られる頻度が高い日本語彙リスト  
— 中1から高3 —

頻度	語彙	頻度	語彙
37	おはよう	2	あきた
25	ヨーグルト	2	おぼろ
25	お肉	2	エスニック
24	だから	2	おすいもの
10	シリアル	2	おなががすく
14	おいしい	2	オムレツ
13	おかず	2	お菓子
12	ココア	2	お茶漬け
10	みそしる	2	がまん
9	なぜなら	2	カレー
8	愛嬌	2	カローリ
8	豆	2	サラダ
7	なので	2	ストランブル
7	ベーコン	2	そうじう時は
5	ジャム	2	たかあん
5	菓子パン	2	なぜかというた
5	休日	2	のせる
4	あきる	2	パン
4	ヘルシー	2	めったにない
3	おにぎり	2	よく
3	そのための	2	一日おき
3	その肉	2	一食の
3	ゆる	2	楽しみ
3	ハム	2	甘い
3	ますい	2	元気
3	もち	2	遊ばは
3	食パン	2	夕食
3	食事	2	上品
3	大切	2	節約する
3	喫茶	2	多い
3	必ず	2	朝ごはん
3	満腹	2	漬物

日本語彙リスト：(「朝食」日本語リスト)

より何十倍も lift のほうがよく使われる。」とか、cやdなら「catよりdogのほうが倍ぐらい頻度が高い。dogのほうが身近な動物なのかもね。」といった感じですか。  
久保寺:最近の英語辞書は corpus-based ですから辞書指導をしっかりとやることもコーパス活用ですね。私も辞書指導について研修会に参加したりして研鑽を積んでますよ。

**Let's Have Breakfast**

朝ごはんを食べると朝と体が元気になるらしい。あなたはどんな朝食を食べていますか? 日本人の朝食は豆粥、ご飯と味噌汁やそれともあなたは、パン食? みんなの朝食が面白い同と「お助けリスト」を参考にしながら、あなたの自分の朝食について、50-60 語程度の英語で自由に気軽に書いてみてください。練習を引く必要はありません。書けない部分は日本語でも構いません。<ある先輩の書いた文(一部修正)>

例1 Every day I have breakfast at home. I usually eat some rice balls and drink two cups of hot milk and a glass of grapefruit juice every morning. Sometimes I eat udon noodles or bread and butter or honey. It takes about half an hour for me to finish eating because I can't eat very fast. (56 words)

例2 I usually eat breakfast because I have 朝練 (soccer practice before class starts. If I don't, I will not be able to work well in the club and the class. I eat rice, miso soup and bread when I have time. When I become hungry, I eat early (have lunch early) although I try not to have it too early. It is difficult for me, though. I'm sorry. (65 words)

あなたの朝食 Class No. Name \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

( words)

例2: Let's Have Breakfast

次に見せていただいたのは、淡暮の英作文コーパスから日本語表現を抽出したリスト。淡暮のデータは中学1年生も書いているので、どうしても英語にならないところは日本語で書いてもよい、としている。それで「英語になりにくい日本語表現」を多く見ることが出来る。それに英語と例文をつけて、自由英作文のタスクを具体的に作っている。こういった

投野:どうやって活用するんでしょう?  
中村:単語ゲームって感じで、例えばeで始まる単語を生徒にドンドン言わせながら、教師がコーパスの頻度に触れる。「イギリス英語のコーパスだと elevator

試みは実はあまり具体的に行われていない。まず第一に「何が表現できないか?」に関する客観的なデータがありませんからである。このコーパスのように「英語にしにくい日本語」のような分析が精密に出来れば、初級段階での自由英作文に具体的なサポートを行うことも可能かもしれない。それは苦手な表現を集めたオンラインの英語表現集のようなものでもよいだろう。


アイデアや表現に訪まった時のお助け和英語ミニリスト  
— おまけ例文付き —

動詞など			
忙しい	be busy	My mother is busy in the morning.	
おなかがすく	be/felt/get hungry	I'm hungry. I got hungry. I feel hungry.	
大好き	love	I love honey.	
ぬる	spread	spread butter on the toast	
遅坊する	get up late	I sometimes get up late.	
のせる(かける)	put ~ on	I put the ham on the bread. I put soy sauce on the egg.	
飲む	drink	I drink some ester.	
走る	run	I run to the station.	
(ほしい/したい)	want	I want rice. I want to eat breakfast.	
望む	hope	I hope I take more time to eat breakfast.	
料理する	cook	I cook breakfast myself.	
少食	eat a little	I only eat a little.	
早弁	eat lunch early	I eat lunch early.	
満腹	have enough	I don't eat enough in the morning.	
食べ物など	あつてよかつた便利英単語		
牛肉	beef	甘い	sweet
果物・フルーツ	(fruit)	おいしい	good
ココア	cocoa	おかず	food
サラダ	salad	健康的な	healthy
サンドウィッチ	sandwich(es)	冷たい、寒い	cold
ジャム	jam	時々	sometimes
シリアル	cereal	なぜなら	because
トースト	toast(s)	困い	sleepy
納豆	natto (beans)	早い、早い	early
ハム	ham	太っている	large
もち	rice cake(s)	ますい	bad
ヨーグルト	yogurt	やせている	slim
菓子パン	bun(s)	電車(に乗る)	(get on) the train
蕎麦	sea weed	洋食	western food
日玉焼き	sunny-side-up	和食	Japanese food
野菜	vegetable(s)	食事	meal
漬物	pickles	コンビニ	convenience store
夕食	dinner	前/あと	before/after
マーガリン	margarine	(の時)	when ~
卵焼き	fried egg(s)	空っぽ	be empty

英作文コーパスから日本語表現を抽出したリスト

**ポイント**

データ → 分析 → 教育 → さらにデータ  
というループをコーパスを使って作る



投野:GTEC の作文データを使った分析で、高校生の英作文の特徴としてどのような点が明らかになりましたか?

内田:予想に反して、内容語の語彙選択の間違いが多かったことが最も顕著な結果です。前置詞のような機能語が高頻度で、しかも習得が難しいと言った感触がありました。やはり相対的には低頻度でも種類が多い内容語のほうが集計すると多くなるのです。指導すべき課題が多いなあという感じです。

淡暮では GTEC (ベネッセコーポレーションの英語能力テスト) の作文データ部分も私の研究室と共同でコーパス化している。特に作文中の添削箇所をすべて検索可能なようにエラータグを付与しているのが特徴的で、これによりどのよう

な誤りが多かったかを直接調べることが可能だ。GTECの添削自体は、あまり詳細な文法エラーまで直していないので、内田先生のコメントは若干割り引いて考える必要があるが、それでも全般的には語彙選択のエラーが多かったというのは面白い結果である。この語彙選択のエラーが多い、という傾向は初級・中級・上級と大雑把に見ると、中上級により強く出るエラーの傾向になる。このような特徴をしっかりと見据えた上での、具体的な英作文指導などを行っていく必要があるが、まだまだきちんとした分析が出来ていない分野であろう。ちなみに、ケンブリッジのUCLESなどでは大量の試験エッセイデータをコーパス化して、これと似たような誤りパターンの傾向分析などを行っているし、ETSなどでも自動作文添削システムをエラーデータなどのテスト受験者の学習者コーパスを用いて研究している。

**投野:**生徒は先生のコーパスを使った授業にどう反応しますか？

**中村:**語彙ランキング表を楽しみにしている生徒がいるようです。特定のタイプの生徒ですが、表を読みとって学習するタイプの学習を好む生徒ですかね。

**内田:**SLCをもとに作った例2のタスクの自由英作文は明らかにSEL-Hi実施当時の作文よりよい出来栄ですね。やはりレファレンスを効率的かつ効果的に付けられるし、タスクの方法も生徒の実態にあう形で与えることができましたから。

SEL-Hi 3年間でつちかった英作文コーパス・データをその後の実践にうまく活かしていることが伺える。もっと包括的な英作文支援システムのようなものを作ったら、きっと全国的に利用してもらえるのではないだろうか。生徒が過去の先輩たちの作文を参考にしながら似たようなテーマで英文を書き、その文法・語法の典型的な誤り例などの補足情報をコーパスから得て作文する、という非常に興味深い実践例である。

ランキングを使って練習するのを楽しみにしている生徒、というコメントも面白い。生徒の興味や関心は非常に多岐にわたっている。でも、そんな中でコーパスからの「何がよく使われるか?」「何が典型的で何が周辺のか?」といった情報は外国語学習に必ず役に立つはずだ。問題はそれをどういうパッケージに包んで料理するかであり、そこが英語教師の腕の見せ所なのである。ランキングを直接見せて面白いと思う生徒もいるだろうし、ランキングのフレーズをさりげなく使ったスキットなどで楽しく導入したほうがよい生徒もいる。いろいろなことを試してみればよいのである。ただし、そこに重要度を加味したコーパス情報が隠し味であると、言語材料としては望ましいのではないだろうか。

## ポイント

コーパス情報の「提示の仕方」にも  
 ヴァリエーションを



## 最後に

**投野:**最後に現場の先生としてコーパス利用での課題は？

**久保寺:**本校では、全教員がメールアカウントを学校から配布されているので作文を電子メールで提出させて小さなコーパスを作って、その結果を生徒にフィードバックすることも簡単にできますよね。来年度はやってみようかしら。それと、中学校の現場はとにかく忙しいですから、コーパスを簡単に検索できる方法があれば助かります。WORDか何かで。

**内田:**確かに。コンコーダンサーは易しいものでも、ちょっと使い方が難しいです。WORDやEXCELでKWIC検索ができると簡単でいいですね。それと、中学での活用を考えると、適当なレベルの英語コーパスが必要だということです。BNCの用例は中学生には難しいものが多く、子供の母語話者や学習者コーパスでは英語の質の問題があり、モデルとしてはそのままでは使いにくいですね。

**中村:**コーパスを眺めていると教師自身が一番勉強になりますね。自分の英語力もアップすると思います。中学教師は多忙ですからじっくりコーパスを丁寧に分析する時間的ゆとりが欲しいなあ。(これはコーパス利用の課題というより、その前提条件の問題ですね。)

最後は、現場の英語教師が持っているコーパスに対する要望やリクエストと言えるだろう。毎回の運搬で出てくることであるが、(1)教員が簡単に使えるコーパス検索の方法、(2)質のよい教育用コーパス、この2つの視点を忘れずに、私もツールやコーパスの開発を行っていきたい。



コーパスを眺めながらブレインストーミング(左から、内田、久保寺、中村俊幸先生)